

社協を友に地域づくりしよう！ ～地域と社協が一緒にできること～

みなさんこんにちは！稲沢市社会福祉協議会（以下、社協）地域づくり担当の鷲見亘（すみわたる）です！
“地域づくり”ってよく聞くけれど、『具体的に何をどう進めれば良いか分からない！』って思いませんか？
地域にはいろんな課題が山積しているけれど、一人で解決できることは多くありませんよね？
私たち稲沢市社協では、地域づくりの事を“縁づくり”と呼んでいて、人と人をつないでいくことで形作られるネットワーク（ご縁）を元に、地域課題解決の仕組みをつくっていくことを、地域の皆さんと一緒に考えて、様々な方法でサポートさせてもらっています。主役はあくまで地域の皆さんです！
今回は、梅須賀町の皆さんと一緒に挑戦してきた取り組みを、住民の皆さんと一緒に紹介させていただきます！（読んで頂いたあなたと社協にご縁がありますように！）

【社協と共に地域の課題解決に取り組み続ける「梅須賀（めすか）町」】

梅須賀町は稲沢市の中央付近に位置し、主に住宅地と農地で構成された静かな風景が広がっています。地名の由来になったとされる「梅姫伝説」や、夜になると光る大きな木の昔ばなしなど、いくつかの逸話が受け継がれる歴史ある地域でもあります。町の中央に位置する教西寺では、ご子息の結婚式を執り行う際、伝統的な菓子まきにより地域ぐるみで祝うなど、住民相互の繋がりが感じられます。



【買い物課題に挑戦！】

課題1：梅須賀町付近には買い物できるお店が少なく、車の免許返納をした後に困るなあ。

①地域で話し合う

座談会開催を呼びかけ、一緒に考えます！何事も、まずは話し合いから始めます！



・自治会役員・民生委員・老人クラブ役員などで構成された「コアメンバー」で話し合いました！『困っている人って、実際にどれくらい居るんだろう？』



住民の
主磨子さん

②住民のニーズを知る

社会調査機能でアンケートを実施！ニーズを見える化して判断をサポートします！

・買い物が困難な人が、実際にどれほどいるか調べたところ、「困っている」「10年後には困る」が大多数いらっしゃるようになりました！
『実際どんな手立てがあるのかな？』



③協力者を探してつなぐ

企業連携で、移動販売の仕組みをご紹介します！導入の判断は住民の皆さんです！

・移動販売が地域の繋がりや見守り機能も兼ねている点に着目し、10年後の買い物資源を創出するために、移動販売車「とくし丸」を教西寺駐車場に誘致することになりました！



【利用者の声】

- ・『一人暮らしだから、小さめの総菜やお弁当が沢山あって助かる！』
- ・『待つ間も井戸端会議が出来て苦にならん。知らなかった人とも顔見知りになれる。』



コアメンバーの
麻里さん

課題解決までの具体的な道のりを社協さんが一緒になって考えてくれたから、仕組みづくりも進めやすかった！取組みを通して町内に声を掛け合える仲間が増えていきました！